

令和7年度社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会事業報告

I 総括

本市においても、全国的な傾向と同様に、少子高齢化や核家族化、高齢者の独居世帯の増加などが課題であり、これらを解決するためには、市民一人ひとりが地域の課題に関心を持ち、互いに支え合える環境を整える必要があることから、令和7年3月に策定した、第五次地域福祉活動計画に基づき、実施計画を定め、目標とする「地域でつながり、支え合う、心のかようまちづくり」と7つの基本方針を地域住民や関係機関、団体との連携を図りながら、次の重点事項に取り組んでまいりました。

II 重点事項報告

1 第五次綾瀬市地域福祉活動計画の推進

第五次綾瀬市地域福祉活動計画に基づき、計画の最終年度である令和10年度までに行うべく事業と、それらを実現させるための年度計画を4半期ごとに定めるとともに、7年度の進捗状況を含め、計画推進委員会で審議いただき、翌年度予算の要求につなげました。

8年度以降も同様に、定めた事業の実現を図るため、進捗管理を随時行いながら、進めてまいります。

2 災害支援体制の充実

近年、大規模災害が頻発していることから、綾瀬市が被災した場合に備え、関係機関との連携方法や円滑な支援を進めるため、ICTを導入し災害ボランティアセンターの運営を行うため、綾瀬市災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂を行いました。

また、本会職員だけでは、災害ボランティアセンターの運営は困難であることから、災害ボランティア養成講座を行い、参加したボランティアの方と行政や関係機関による、マニュアルに沿った災害ボランティアセンター設置運営訓練を行い、支援体制の確認を行いました。

3 綾瀬市社協を広く知ってもらう取り組み

市内で実施された様々なイベントに積極的に参加し、PR活動を行いました。

また、親しみやすい本会とするため、マスコットキャラクター「もろコブタ」を誕生させ、さらに、公式LINEの開設や広報紙のリニューアルの準備を進め、本会の活動を広く周知いたしました。

Ⅲ 事業概要報告

I 社会福祉事業

決算額（前年度決算額）

1 法人運営事業

(1) 法人運営管理

5,131 千円（3,705 千円） 

三役会、理事会、評議員会、監事会等を開催し、地域福祉の推進を目的とした法人運営を図った。

ア 三役会（4回開催）

三役（会長、副会長及び常務理事）が理事会及び評議員会に関すること、今後の事業執行に必要な事項等について協議、検討を行い、本会理事機能の円滑化を図った。

イ 理事会（5回開催）

第1回（令和7年6月10日）

- ・ 令和6年度事業報告の承認
- ・ 令和6年度決算の承認
- ・ 評議員候補者の推薦について
- ・ 理事候補者の推薦について
- ・ 監事候補者の推薦について
- ・ 評議員選任・解任委員会の招集について
- ・ 評議員会の招集について

第2回（令和7年6月26日）

- ・ 正副会長及び常務理事の選任について

第3回（令和7年8月8日）

- ・ 資金収支補正予算（第1号）
- ・ 諸規程の一部改正
- ・ 令和7年度顕彰者（表彰・感謝）の決定について
- ・ 評議員会の招集について

第4回（令和7年12月10日）

- ・資金収支補正予算（第2号）
- ・諸規程の一部改正
- ・年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金支給基準の決定について
- ・評議員会の招集について

第5回（令和8年3月9日）

- ・資金収支補正予算（第3号）
- ・諸規程の制定及び一部改正
- ・令和8年度事業計画
- ・令和8年度資金収支予算
- ・役員賠償補償保険の契約について
- ・評議員会の招集について

ウ 評議員会（5回開催）

第1回（令和7年6月25日）

- ・令和6年度事業報告の承認
- ・令和6年度決算の承認
- ・理事の選任について
- ・監事の選任について

第2回（令和7年6月26日）

- ・議長及び議事録署名人の選任方法について

第3回（令和7年8月28日）

- ・資金収支補正予算（第1号）

第4回（令和7年12月22日）

- ・資金収支補正予算（第2号）

第5回（令和8年3月26日）

- ・資金収支補正予算（第3号）
- ・令和8年度事業計画
- ・令和8年度資金収支予算

エ 監事会（2回開催）

第1回（令和7年6月5日）

- ・令和6年度事業報告
- ・令和6年度決算

第2回（令和7年11月21日）

- ・令和7年度上半期事業報告
- ・令和7年度資金収支上半期執行状況

オ 評議員選任・解任委員会（1回開催）

第1回（令和7年6月16日）

- ・評議員の選任について

カ 役員（理事・監事）・評議員合同研修会

第1回（令和7年6月26日）

- ・綾瀬市社会福祉協議会の組織及び運営について
- ・令和7年度事業計画及び予算について



キ 特別賛助会員の推進

特別賛助会員加入のため郵便方式による依頼のほか、会長、常務理事及び職員が市内事業所を訪問し、加入の推進を図った。

- ・金額 1,163,000円
(1,292,000円)
- ・件数 162件（171件）

ク 事務局通信の発行

社協事業の紹介、職員のプライベートな話題など、親しみを持ってもらえる記事を掲載した内部広報紙を発行し、役員、評議員、地区社協会長やささえあい井戸端会議座長へ情報発信を図った。また、希望者にメールでの配付した。

- ・令和7年4月、7月、10月、令和8年1月 各号約60部発行

ケ 企業からの寄附

市内企業である株式会社タズミが創業60周年を迎え、地域福祉活動の推進のために寄附をいただいたため、当事業にて受領した。

- ・件数 1件
- ・金額 600,000円

(2) 職員管理

79,305 千円 (93,293 千円)



令和7年度は、合計35事業の運営のため、地区社協活動への支援やささえあい井戸端会議（第二層協議体）への支援をはじめ、地域福祉推進のため行政、福祉団体、福祉施設等の関係機関と連携を図った。

2 調査・研究事業

(1) 計画推進委員会

185 千円 (237 千円)



第五次綾瀬市地域福祉活動計画が完成し、4年後の目標達成までのスケジュール、1年ごとの目標及び実施計画の作成を行った。

第1回（令和7年6月24日）

- ・第四次計画の総括について
- ・第五次計画の実施計画について

第2回（令和7年11月18日）

- ・第五次計画上半期の報告及び下半期の見通しについて
- ・発展強化計画について

第3回（令和8年3月11日）

- ・第五次計画実施計画の令和7年度の報告と8年度以降の内容について
- ・綾瀬市地域福祉活動計画関連スケジュールについて

(2) 苦情解決調整委員会

0 千円 (5 千円)



市民、利用者からの苦情が寄せられた場合、苦情解決調整委員会を設置し、適切な解決及び福祉サービスの質の向上、運営の信頼性を図る事業

(3) 福祉人材確保事業

57 千円 (0 千円)



福祉分野の人材育成、理解促進のため各種プロジェクトの展開をした。

ア 福祉の仕事知ってもらおうプロジェクト

福祉の仕事について理解を深めるため、外部講師を派遣し、講演会を行った。

- ・実施日：令和8年3月13日
- ・対象：綾瀬西高校1年生（約300人）
- ・講師：森脇 晋



イ あやせ Tomorrow プロジェクト

福祉と関わりの少ない方々が関係を築くきっかけとして、厚木基地内有志の方々とのコラボで防犯活動と地域の交流を兼ねた清掃活動を実施した。また、若い世代を地域に取り込むため、日々輝学園のボランティアにも参加してもらい、交流を行った。

- ・実施回数 11回（15回）
- ・参加者 約330名（約400名）

3 広報・啓発事業

(1) 広報紙等発行事業

5,528 千円（4,836 千円）

市民に広く社協事業の啓発や福祉情報の周知を行った。

ア 広報紙発行

広報紙「社協あやせ」を発行し、市内全世帯、事業所、市内公共施設や構成会員、特別賛助会員へポスティングによる配付を行い、啓発の促進と福祉情報の周知を行った。

- ・令和7年4月、6月、10月、令和8年1月
- ・各号約36,500部発行



イ ホームページ公開 ([http:// ayase-shakyo. or. jp/](http://ayase-shakyo.or.jp/))

本会の情報をはじめ地区社協の広報など、幅広く情報を発信した。また、SNSを利用し、リアルタイムな情報発信を行った。

(ホームページ)

(フェイスブック)



ウ 公式LINEアカウントの開設（令和8年1月開設）

本会が行う事業やイベント情報を発信するため、
公式LINEアカウントを開設した。



(2) 福祉ふれあいまつり

595 千円（622 千円）⇩

福祉ふれあいまつり実行委員会との共催により、福祉施設及び団体、地区社協、ボランティアの協力のもと、地域福祉や障がい当事者など福祉に今まで接点のなかった、または関わりの少なかった市民に向けて、福祉の理解と参加者及び関連団体の交流を図った。また、社協マスコットキャラクター作成のため、投票を行った。

- ・開催日 令和7年9月28日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者 約2000名（約1,000名）
- ・協力団体 48団体（29団体）
- ・個人ボランティア 15名



ア 福祉ふれあいまつり実行委員会事務局

福祉ふれあいまつり実行委員会事務局として、会議を行った。

- ・開催回数4回（4回）

4 地域福祉推進事業

(1) 社会福祉大会（社会福祉表彰式）

315 千円（218 千円）



永年にわたって地域福祉推進のため活動してきた方々や多額の芳志をされた方々を対象に表彰式典を開催し、労をねぎらった。

- ・開催日 令和7年10月4日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者 110名（110名）
- ・被表彰者 表彰 21件（11件）
感謝 13件（4件）
寄附感謝 8件（6件）
福祉作文コンクール表彰0件（0件）
- ・地区社協活動実践発表大会
（発表地区：寺尾北地区、寺尾天台地区）



(2) 福祉レクリエーション大会

121 千円（68 千円）



市内の福祉団体とその家族及び福祉施設の入所者が集い、スポーツを通じて参加者相互の交流、心身の健康保持を図った。

- ・開催日 令和7年11月8日
- ・会場 IIMUROGLASS 綾瀬市民スポーツセンター
- ・参加者 99名（92名）
- ・ボランティア 57名（53名）



(3) 地区社協推進事業

3,966 千円（4,076 千円）



地区社協活動を支援するため、各種活動費の助成金交付、研修会を実施するとともに各地区に職員を派遣し支援を行った。

ア 活動費助成金

- 助成数 13地区（14地区）
- 助成額 260万円（280万円）

イ ふれあい・いきいきサロン助成金

助成数 4 地区（2 地区）

助成額 19 万円（9 万円）

ウ 地区ボランティアセンター助成金

助成数 3 地区（3 地区）

助成額 15 万円（15 万円）

エ 活動強化推進費等助成金

交流事業

・助成数 11 地区（9 地区）

・助成額 105 万円（90 万円）

活動拠点

・拠点数 1 か所（1 か所）

・助成額 5 万円（5 万円）

オ 地区社協合同研修会

新任役員等合同研修会

・開催日 令和7年8月19日

・参加者 16 名（11 名）

カ 部会情報交換会

総務部会担当者情報交換会

・開催日 令和7年10月9日

・参加者 8 名（12 名）

サロン部会担当者情報交換会

・開催日 令和7年10月17日

・参加者 11 名（13 名）

事業部会担当者情報交換会

・開催日 令和7年10月23日

・参加者 12 名（16 名）

キ 地区社会福祉協議会連絡協議会事務局

地区社会福祉協議会連絡協議会事務局として、定例会等の会議を行った。

・定例会等回数 4 回（4 回）

ク 地区社会活動実践発表大会

- ・開催日 令和7年10月4日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・発表地区 寺尾北地区、寺尾天台地区

ケ 地区社会福祉協議会連絡協議会研修

令和7年度は実施無し。

コ 地区社会活動功労者表彰式

- 開催日 令和7年12月12日
- 被表彰者 17名（12名）

(4) 生活支援体制整備事業

4,446千円（4,559千円）⇩

日常生活圏域での協議の場「ささえあい井戸端会議（第二層協議体）」を支援するため、各地区に職員を派遣し支援を行った。また、ささえあい井戸端会議連絡会等を行い、井戸端会議間の情報交換を行った。

ア ささえあい井戸端会議（第二層協議体）の開催

地域住民同士で地域特有の課題や困りごとについて、意見交換を行った。

開催地域／開催回数／延べ参加人数

・寺尾南	10回（11回）	91名（97名）
・上土棚	0回（3回）	0名（24名）
・吉岡	6回（7回）	63名（72名）
・中村	10回（11回）	130名（125名）
・落合	11回（12回）	143名（97名）
・小園	6回（7回）	92名（123名）
・大上	9回（10回）	96名（106名）
・早川	6回（9回）	60名（89名）
・蓼川	12回（9回）	157名（40名）
・上深谷	0回（1回）	0名（11名）
・寺尾天台	0回（1回）	0名（12名）
・寺尾北	10回（9回）	106名（133名）
・綾西	6回（6回）	81名（52名）
・寺尾綾北	2回（1回）	8名（5名）

イ ささえあい井戸端会議連絡会議

ささえあい井戸端会議の動向、課題を共有する連絡会議を行った。

・開催回数 3回（4回）

ウ 第一層協議体会議

ささえあい井戸端会議の動向、課題を共有し、
第一層協議体（市域）での取り組み方法等を検討した。

・開催回数 2回（2回）



エ 地域サロン助成金

高齢者が地域で気軽に集える継続的な集いの場（サロン）を運営する団体に対し、助成金を交付し、サロン活動の支援を図った。

・助成数 50団体（49団体）

・助成額 3,753,000円（3,882,000円）

5 助成事業

(1) 地域福祉事業交付金

604千円（646千円）⇩

各自治会の協力により募集した、会費（住民会費）の一部を還元し、自治会で実施する地域福祉活動の支援を行った。

・交付数 14自治会（14自治会）

(2) 福祉当事者団体等事業助成金

1,434千円（1,571千円）⇩

障がい者、高齢者等の当事者団体及び小、中学校への福祉啓発支援するために助成金を交付し、当事者活動、学校教育との連携や福祉教育の充実、促進を図った。

ア 福祉当事者団体助成金

助成数 7団体（7団体）

イ 小・中学校福祉推進事業助成金

助成数 15校（15校）

ウ 企業等からの寄附

商工会青年部及び武田商事から福祉教育を行う事業に寄附をいただいたため、当事業にて受領した。

・件数 2件

・金額 41,779円

(3) 福祉ボランティアグループ助成金

1,155 千円 (1,161 千円) ⇩

ボランティアグループ活動を支援するために助成金を交付し、ボランティアグループ活動の充実、促進を図った。

- ・助成数 19 グループ (18 グループ)

6 援護事業

(1) 法外緊急援護事業

1 千円 (1 千円) ⇨

緊急に交通費等を必要とする方に資金を給付し、自立更生の支援を行った。

- ・給付件数 1 件 (3 件)
- ・緊急的支援件数 0 件 (0 件)

7 総合相談事業

(1) 総合相談事業

2 千円 (3 千円) ⇩

社協窓口と併せ、LINE でも相談を受付け、悩みごとや心配ごとの解消を図った。また、支援者のための二次相談の場となること、ゆるやかな横の連携づくりを行いながら、予防的支援を行っていく体制づくりの基礎となることを目的に、市内の福祉相談機関との情報交換会を行った。

ア 窓口相談

- ・相談件数 833 件 (667 件)

イ LINE 相談

- ・登録者数 32 名 (14 名)
- ・相談件数 10 件 (31 件)

ウ 福祉相談機関情報交換会

- ・開催回数 2 回 (3 回)

(2) 生活応援事業

79 千円 (23 千円) 

生活や食べるものに困窮する市民や世帯を対象に、総合的な相談と緊急性の高い世帯に対して光熱水費の支払い（現物支給）を行うため、事業の財源として、社会福祉法人から協賛金を募った。また、フードバンクかながわ、セカンドリーグ神奈川、（株）セブンーイレブン・ジャパン等から食品提供協力を得て食料支援を行い、生活再建の支援を図った。

ア 生活応援支援

- ・ 支援件数 22 件 (0 件)

イ フードバンク団体等の協力による食料支援（随時対応）

- ・ 支援件数 576 件 (349 件)

ウ 生活応援事業協力法人の募集

- ・ 協賛法人数 7 件 (7 件)
- ・ 協賛金額 22 万円 (22 万円)

エ 生活応援事業運営委員会

- ・ 開催回数 1 回 (1 回)

オ フードリンクあやせへの参画

- ・ 開催回数 2 回 (0 回)

8 ボランティア振興事業

(1) ボランティアセンター運営事業

3,465 千円 (3,113 千円) 

ボランティア相談員を配置し、ボランティア相談（ボランティアをしたい、ボランティアを派遣してほしい等）の需給調整を行い、市民の福祉活動への参加促進及びニーズの対応を行った。

ア ボランティア活動・相談

- ・ 個人ボランティア登録数 187 名 (152 名)
- ・ 団体ボランティア登録数 54 団体 (53 団体)
- ・ LINE 友達登録件数 275 名 (198 名)
- ・ 相談件数 230 件 (69 件)

イ ボランティア講座

ボランティア活動に携わるために必要な知識を学び理解を深める講座を開催し、ボランティアの養成を図った。

ボランティア入門講座

- ・開催回数 2回（2回）
- ・参加者 32名（27名）

ボランティア入門講座（施設開催）

- ・開催回数 1回（1回）
- ・参加者 15名（13名）

ウ ボランティアさろん（みんなのさろん）

誰もが簡単に参加できる活動の提供や情報交換、交流の場として行った。

- ・開催回数 11回（12回）
- ・参加者 140名（100名）

エ 青少年体験学習

中、高校生等を対象にボランティア活動の場を提供し、福祉の理解促進を図った。

- ・参加者 中学生 16名（31名） 高校生等 33名（57名）
- ・協力校 中学校 4校（3校） 高校等 4校（5校）
- ・協力施設 23か所（21か所）

オ 福祉教室

小学校や地域から依頼を受け、福祉教室を行った。

- ・小学校 9校（7校）
- ・対象数 2,409名（2,342名）
- ・地域 1地区（1地区）
- ・対象数 6名（20名）

実施内容

- ・手話体験 7件（8件）
- ・点字体験 1件（3件）
- ・車いす体験 6件（8件）
- ・視覚障がい者講話 1件（0件）
- ・社協職員講話 7件（6件）
- ・肢体不自由児者講話 0件（2件）
- ・誘導（白杖）体験 6件（1件）
- ・要約筆記体験 1件（0件）
- ・サウンドテーブルテニス体験 6件（5件）

カ 行事用機材貸出事業

福祉団体、市民活動団体等へ行事用機材の貸出しを行い、地域活動の支援を行った。

- ・ポップコーン機 10件（11件）
- ・かき氷機 14件（8件）
- ・ワンタッチテント 4件（2件）
- ・綿菓子機 14件（14件）

キ 団体からの寄附

国際ソロプチミストあやせから行事用機材としてポップコーン機を寄贈していただき、地域活動の推進に活用した。

ク 綾瀬市ボランティア連絡協議会との連携

綾瀬市ボランティア連絡協議会事務局として、会議を行った。

- ・定例会回数 4回（3回）

(2) 災害ボランティアセンター活動事業

27千円（5千円）

有事を想定し、関係団体との連携や災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施、マニュアルの見直しを行った。

ア 災害ボランティアセンター設置運営に関する取り組み

小田原市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターに参加した。

- ・実施日 令和7年12月23日
- ・主催 小田原市社会福祉協議会

イ 災害ボランティアセンター支援ボランティア養成講座

災害ボランティアセンター設置運営を支援するボランティア養成を行った。

- ・開催回数 2回（0回）
- ・受講者 20名（0名）



ウ 災害ボランティアセンター設置運営訓練

キントーンを使用して、市民とともに災害ボランティアセンター設置運営訓練を行った。

- ・実施日 令和8年3月13日
プレ訓練（内部研修）
- 令和8年3月15日
設置運営訓練



9 共同募金配分金事業

(1) 共同募金配分金事業

120 千円 (116 千円) 

年末たすけあい募金の一部を、市内の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターへ配分した。

- ・ 交付数 2 か所 (2 か所)
- ・ 交付額 1 0 万円 (1 0 万円)

(2) 災害時あんしん袋配付事業

301 千円 (287 千円) 

地域にお住まいで災害時の避難に不安を感じている方や見守りが必要な方を対象に、災害時あんしん袋（水、大粒ラムネ、笛、懐中電灯）を配付し、地域と要支援者との顔つなぎを図った。

- ・ 協賛 サントリービバレッジソリューション株式会社（水の無償提供）
- ・ 協力 地区社協
- ・ 配付数 1, 1 5 3 個 (1, 2 3 4 個)

10 あんしんセンター事業

(1) 日常生活自立支援事業

4, 071 千円 (5, 617 千円) 

障がい者や高齢者等が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や金銭管理、公共料金等の支払を代行し、日常生活の支援を行った。

ア 契約締結者数

- ・ 利用援助、管理サービス 2 6 名 (2 5 名)
- ・ 書類等預かりサービス 8 名 (1 0 名)
- ・ 上記両方契約 8 名 (1 0 名)

イ 相談件数

- ・ 新規相談 1 4 件 (1 5 件)
- ・ 契約者相談 1, 0 8 5 件 (1, 6 5 6 件)

ウ 局内カンファレンス

新規相談者の契約締結能力や支援の必要性などを総合的に判断し、支援方針の決定、支援の適否や契約更新の可否について検討を行った。

- ・開催回数 6回（7回）

エ 情報共有会

支援員も交えて、利用者の日々の状況や支援内容を検討し、支援方針について確認、情報共有を行った。

- ・開催回数 12回（12回）

(2) 法人後見事業

5,570千円（4,568千円）

家庭裁判所の審判により、認知症高齢者や障がい者の後見人等として身上監護、財産管理を行い、日常生活の支援を行った。また、成年後見制度利用促進のため、協議会の開催、事務担当者会議、事業所へアンケート調査を行った。

ア 受任件数

- ・後見 7件（9件）
- ・保佐 2件（0件）
- ・補助 0件（0件）
- ・後見監督人 2件（1件）

イ 法人後見審査会

法人後見受任の適否について、検討及び審査を行った。

- ・開催回数 4回（2回）

ウ 広報活動

成年後見制度に関する相談窓口等について、本会広報紙に掲載し、情報発信を行った。

エ 研修会

高齢、障がい分野の事業所、市民を対象に、日常生活自立支援事業、成年後見制度について理解を深めていただくことを目的に研修会を行った。

- ・開催回数 2回（1回）
- ・参加者 24人（10人）

(3) 市民後見事業

1,445 千円 (1,511 千円) ↓

市民後見サポーター活動、市民後見人活動の支援を行った。

ア 市民後見サポーター支援

市民後見人養成講座修了者の市民後見サポーター活動の支援を行った。

- ・市民後見サポーター 4 名 (2 名)

イ 市民後見人支援

後見監督人として、後見人受任をしている市民後見人活動の支援を行った。

- ・市民後見人 2 名 (1 名)

ウ 市民後見人養成講座実践研修

市民後見人として必要な座学や実習を実施した。

- ・実施期間 令和 7 年 7 月から 8 月まで (全 8 回)
- ・修了者 3 名



(4) 託すサポート事業

31 千円 (34 千円) ↓

広報の掲載や地区社協へ事業説明を行い、周知を行った。また、審査会を開催し、これまでの相談状況等の報告を行った。

ア 相談件数

- ・相談件数 8 件 (9 件)

イ 託すサポート事業審査会

第 1 回 (令和 8 年 3 月 25 日)

- ・事業周知状況及び相談状況の報告
- ・身寄りのない高齢者等の課題に対するための試行的事業について

1 1 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

4,929 千円 (3,369 千円) ↑

生活福祉資金等の貸付の相談や借受者 (世帯) への償還指導を実施し、低所得者世帯への生活の安定を図った。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特例貸付を借入した世帯に対して償還状況に対応した支援を行った。

ア 福祉資金

相談件数 78件（38件）

貸付件数 1件（1件）

イ 教育支援資金

相談件数 57件（49件）

貸付件数 5件（0件）

ウ 緊急小口資金

相談件数 108件（62件）

貸付件数 3件（3件）

エ 総合支援資金

相談件数 8件（3件）

貸付件数 0件（0件）

オ 不動産担保型生活資金

相談件数 6件（6件）

貸付件数 0件（1件）

カ コロナウイルス感染症特例貸付（償還関係）

相談件数 70件（46件）

(2) 簡易小口生活資金事業

237千円（501千円）⇩

不測の事態により、生活が困難になった世帯を対象に資金を貸付し、生活の安定を図った。

- ・貸付件数 9件（17件）
- ・償還件数 8件（20件）

12 基金運営事業

(1) 福祉基金運営事業

413千円（572千円）⇩

寄附金、寄附物品を管理し、福祉基金へ積立て及び指定寄附を行った。

- ・寄附金件数 22件（25件）
- ・寄附金額 412,652円（571,768円）
- ・寄附物品件数 22件（30件）

(2) 各種基金運営事業

1,211 千円 (1,122 千円) 

各種基金を管理し、財源の確保、財政の長期にわたる健全な運営を図った。

13 サービスセンター事業

(1) サービスセンター事業

2,295 千円 (2,094 千円) 

コミュニティケアワーカーを配置し、住民参加型（生活支援・移動支援）や移送サービス受託事業等への相談、調整、支援のコーディネートを行い、在宅福祉サービスを中心とした支援を行った。

ア 車いすの貸出

3 か月を限度とし車いすの貸出を行い、病気やケガ等で歩行が一時的に困難な市民へ支援を行った。

- ・貸出件数 121 件 (132 件)

イ あやせ夢アート展

令和7年度は、福祉ふれあいまつりの中であやせ夢アート展を開催し、市内の障がい当事者が制作した作品を展示し、啓発活動を行った。

- ・開催日 令和7年9月28日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・来場者 2,000名 (100名) ※福祉ふれあいまつり来場者と同数

(2) 住民参加型生活支援事業

687 千円 (568 千円) 

市民の参加と協力により、高齢者、障がい者等に住民参加型ヘルパーを派遣し、家事援助、身体介護などの生活支援を行った。

ア 登録者数

- ・協力会員 24名 (22名)
- ・利用会員 28名 (22名)

イ 援助回数

- ・505回 (451回)

(3) 住民参加型移動支援事業

145 千円 (128 千円) 

市民の参加と協力により、移動制約者（高齢者、障がい者等）に、市民の自家用車の提供を受け、通院等の送迎支援を行った。

ア 登録者数

- ・ 協力会員 10 名 (10 名)
- ・ 利用会員 78 名 (62 名)

イ 運行回数

- ・ 1,048 回 (904 回)

(4) 移送サービス受託事業

3,001 千円 (3,062 千円) 

車いす等を利用しなければ歩行が著しく困難な市民へ、リフト車を2台運行し、通院等の送迎支援を行った。

ア 登録者数

- ・ 105 名 (88 名)

イ 運行回数

- ・ 239 回 (216 回)

1.4 障害者介護支援事業

(1) 障害者介護支援事業

544 千円 (467 千円) 

障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、サービス等利用計画を作成し支援を行った。

ア 計画相談事業

- 利用者 44 名 (42 名)

Ⅱ 収益事業

決算額（前年度決算額）

1 売店事業

(1) 売店事業 120,598 千円（110,859 千円）

市役所職員の福利厚生や来庁者の利便を図るため運営していた、市役所地下売店を令和7年12月に閉店したが、ふるさと納税返礼品対応や自動販売機の設置などについては継続し、収益金を福祉事業に活用するため自主財源の確保を図った。



◇会費収入状況

会員（会費）募集

本会が行う民間福祉活動の理解及び事業、活動のための自主財源確保を目的として実施し、多くの市民等の賛助をいただいた。

会費種別	金額
住民会費	5, 6 1 3, 0 0 5 円（5, 9 8 1, 9 6 5 円）
構成会費	1 0 2, 0 0 0 円（ 1 0 8, 0 0 0 円）
特別賛助会費（事業所）	1, 1 4 9, 0 0 0 円（1, 2 8 4, 0 0 0 円）
特別賛助会費（個人）	1 4, 0 0 0 円（ 8, 0 0 0 円）
計	6, 8 7 8, 0 0 5 円（7, 3 8 1, 9 6 5 円）

◇事務局職員体制

（令和8年3月31日現在）

事業区分名	配置人員
職員管理	常勤（9名）
ボランティアセンター運営事業	非常勤（2名）
日常生活自立支援事業	嘱託（0名） 非常勤（兼務2名）※注
法人後見事業	嘱託（1名） 非常勤（兼務2名） ※注
市民後見事業	非常勤（3名 うち兼務2名） ※注
生活福祉資金貸付事業	非常勤（2名）
サービスセンター事業	非常勤（2名）
移送サービス受託事業	非常勤（2名）
売店事業	非常勤（3名）
計	常勤（9名） 嘱託（1名） 非常勤（14名） 計24名

※注：非常勤職員2名については、あんしんセンター生活支援員として（日常生活自立支援事業、法人後見事業、市民後見事業）の3事業を兼務しております。